令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　24

事務事業名称		基幹管路整備事業						
担当部署(R7年度機構)		部:　上下水道局		課:　上水道工務課		区分	持続的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	1.安全で、利便性の高いまち				細区分	維持管理区分	
	総合計画 施策目標	1.災害に対する備えができているまち				性質	防災・安全	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					○			
	事業期間	事業開始：　不明		～	事業終了予定：　未定(継続実施)			
	根拠法令等	水道法、水道施設の技術的基準を定める省令						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:	—	
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	安全で安心な水道水の使用ができ、地震等の災害時でも途切れることなく安定的に水道水が供給されている状態。						
	対象者(受益者)	水道を利用している市民						
	現状・課題	導水管・送水管・配水本管の老朽化や地震等の災害発生の影響による管路破損に伴う断水や水濁りの影響を受ける。						
	事業の概要	導水管・送水管・配水本管の新設や更新・耐震化により豊富で安定した水道水を途切れることなく供給する。						
	年間の主な事務	基幹管路更新に伴う設計、積算、施工監理業務。						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	4.90人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.28人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	37,671	—	—	—		
		会計年度任用職員	823	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		38,494	—	—	—		
	物件費計		314,979	—	—	—	1,565,931	20.1%
歳出計			353,473	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	188,586	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		178,704	—	—	—	325,000	
	その他		0	—	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			178,704	—	—	—	513,586	
一般財源(物件費充当分のみ)			136,275	—	—	—	1,052,345	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 工事発注件数	件	5 件	ー 件	ー 件	ー 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: 基幹管路が整備される

指標: 基幹管路の耐震化率

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	36.3	36.6	36.6	36.6	%
実績	36.3	ー	ー	ー	%
算出方法	基幹管路耐震化延長／市内基幹管路延長×100				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: 安定的に水道水が供給される。

指標: 管路事故件数(断減水の影響が100戸を超えるもの)

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	0	0	0	0	件
実績	0	ー	ー	ー	件
算出方法	ー				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

安定的に水道水が供給される。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	指標の達成度については、予定通り実施できている。工事発注手続きについては、工期の複数年設定を可能とする予算措置により発注時期の平準化等に取り組み予定通り事業の発注を行うことができた。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	引き続き、発注時期の平準化や工期の複数年度設定を活用し、円滑な基幹管路の整備・更新に取り組む。	R7年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	ー	ー	ー

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　647

事務事業名称		配水支管整備事業						
担当部署(R7年度機構)		部:　上下水道局	課:　上水道工務課			区分	持続的事業	
基本項目	総合計画	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち			細区分	維持管理区分	
		施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち			性質	防災・安全	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					○			
	事業期間	事業開始：　不明		～	事業終了予定：　未定(継続実施)			
	根拠法令等	水道法、水道施設の技術的基準を定める省令						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:	—	
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	配水支管の更新及び鉛製給水管の解消によって、安全で安定的に水道水の使用ができている状態。						
	対象者(受益者)	老朽配水支管及び鉛製給水管を使用している市民						
	現状・課題	配水支管及び給水管の老朽化に伴う漏水や水質への懸念。						
	事業の概要	水質の安定と漏水防止のため、老朽配水支管を耐震管に布設替えするとともに,鉛管を使用している給水管をポリエチレン管(PE)に取り換える。						
	年間の主な事務	配水支管、給水管更新に伴う設計、積算、施工監理業務						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	12.00人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	2.12人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	92,256	—	—	—		
		会計年度任用職員	6,228	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		98,484	—	—	—		
	物件費計		1,468,907	—	—	—	2,769,676	53.0%
歳出計			1,567,391	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		956,596	—	—	—	1,404,000	
	その他		0	—	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			956,596	—	—	—	1,404,000	
一般財源(物件費充当分のみ)			512,311	—	—	—	1,365,676	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 工事発注件数	件	41 件	ー 件	ー 件	ー 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: 配水支管が更新され鉛製給水管が解消される。

指標: 配水管の耐震化率

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	29.6	30	30.3	30.8	%
実績	29.6	ー	ー	ー	%

算出方法: 配水管管路耐震管延長／市内配水管管路延長×100

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: 安全で安定的に水道水の使用ができる。

指標: 管路事故件数(断減水の影響が100戸を超えるもの)

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	0	0	0	0	件
実績	0	ー	ー	ー	件

算出方法: ー

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

安全で安定的に水道水の使用ができる。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	指標の達成度については、概ね想定通りであったが、他企業と競合する一部事業については、事業間調整により次年度繰越となった。このため、事業が早期に完了できるよう、他企業と調整を行い工程を検討する必要がある。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	配水支管の更新については、引き続き整備計画に基づき円滑な事業の実施に取り組む。また、他企業と競合する事業については、事前協議も含め綿密な工程調整を行い予定通り事業が完了できるよう取り組む。	R7年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	ー	ー	ー

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　890

事務事業名称		上水道工務課運営事務						
担当部署(R7年度機構)		部:　上下水道局		課:　上水道工務課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画	基本目標	9.施策体系外			細区分	行政運営区分	
		施策目標	99.施策体系外			性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始：　不明			～	事業終了予定：　未定(継続実施)		
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:	—	
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	各庶務事務事務の迅速かつ適切な処理、他部署との調整によって組織としての機能を効率的に発揮し、所管事務が円滑に執行できている状態。						
	対象者(受益者)	課の職員						
	現状・課題	所管事務を適正かつ迅速に執行するため、課の運営を円滑に図る必要がある。						
	事業の概要	・市議会等に対する調整及び交渉等 ・行政評価及び事業計画等に関する事務 ・局内外への照会・回答処理、事務引継ぎ事務及び公用車の点検、管理に関する事務 ・課の予算、決算に関する事務						
	年間の主な事務	議会、地域コミュニティ、自治会等へ水道工事のお知らせ配布(年40件程度) 水道工事積算システムの運営、改訂業務 水道工事に伴う施工承諾(年5地区程度)						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.90人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.00人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	6,919	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		6,919	—	—	—		
	物件費計		488	—	—	—	582	83.8%
歳出計			7,407	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		0	—	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	—	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			488	—	—	—	582	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
①			―	―	―

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①						
説明						
指標		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					
	実績					
	算出方法					

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①						
説明						
指標		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					
	実績					
	算出方法					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	事業実施に欠かせない水道積算システム機器及び車両の維持管理や庁内関係部署からの照会回答事務等について、遅漏なく、適正に手続きを実施することができた。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	各事業が円滑に実施できるよう、各種事務手続きを行う。	R7年度方向性	**現状維持**

参考	方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
		現状維持	**現状維持**	―	―	―